

日本で薬剤疫学研究に利用可能なサーベイ型データベース（学会のアンケートにご回答いただいた方からの2026年8月時点の情報を記載しています）

	PatientsMap	NHWS	DeSC	JMDC	ルナルナ	NCD
管理者（組織や会社など）の略称	株式会社社会情報サービス エムスリー株式会社	SSRI／Oracle Life Sciences	DeSCヘルスケア	株式会社JMDC	株式会社エムティーアイ	一般社団法人National Clinical Database
データベース名称	PatientsMap	National Health and Wellness Survey	kencom	Pep up	ルナルナLINK	National Clinical Database
連絡先（代表メールアドレス等）	patientsmap@ssri.com	nhws@ssri.com	rwe-psales@desc-hc.co.jp	mdbhelp@jmdc.co.jp	lnln_support@cc.mti.co.jp	public@ncd-core.jp
ウェブサイトURL	https://www.ssri.com/service/omnibus/patientsmap/	https://www.ssri.com/service/omnibus/nhws/	https://desc-hc.co.jp/archives/publication	https://www.phm-jmdc.com/	https://lnln.jp/	https://www.ncd.or.jp/
紹介論文DOI			10.31662/jmaj.2021-0189		10.1097/AOG.00000000000003910 10.1097/AOG.00000000000005476	DOI: 10.1007/ s00595-013-0802-3 DOI: 10.5090/ kjtcs.2014.47.5.437
データベースの概略						
データベースの概略	日米中英4か国の医師3万8千人以上を対象とした大規模アンケート調査データベースです。希少疾患を含む1,000以上の疾患を網羅しています。各疾患の診療構造や推計患者数、アンメットニーズ、MR訪問を含むプロモーション実態などを、網羅的かつ横断的に把握することが可能です。	主要12か国のべ200万人以上の成人の一般生活者を対象にしたアンケート調査に基づくデータベースで、165以上の疾患・症状に関する有病・診断・治療だけでなく、その疾患患のQOL・WPAI、重症度や併発症、使用薬剤、および、医療に対してのお考えや行動(アドヒアランスを含む)などの特徴も把握可能。	組合管掌健康保険と国民健康保険から収集したレセプトデータ・健診データ・加入者台帳によって作成した匿名加工情報のデータベースと弊社が開発したヘルスケアアプリ「kencom」のPROデータ、及びライフログデータを突合したデータを提供。	全国の200以上の保険者を対象とするPHRサービス。レセプト・健康診断結果・ウェアラブルデバイスデータを紐づけ、アンケート調査などが可能なパネル。	「ルナルナ」は主に日本において、月経管理を中心とした女性の健康情報を提供しており、2300万ダウンロード(2026年4月現在)を突破したサービスです。25年以上にわたるサービス提供で培われたユーザー基盤を活かしたアンケート調査や、データベースに蓄積された月経に関連する体調データが強みです。	外科系学会を中心に創設された多領域のレジストリ基盤。多数の全国レベルの手術・インターベンションのレジストリ、病理レジストリ、臓器癌登録などが運営されている。症例登録データとDPC・レセプトデータベースとの連携利用も可能。

	PatientsMap	NHWS	DeSC	JMDC	ルナルナ	NCD
調査対象	医師	18歳以上の一般生活者	組合管掌健康保険や国民健康保険に加入し、kencomに登録した生活者を対象者としている	保険加入者（加入者本人）	ルナルナサービスを利用している人（患者）、もしくはルナルナの医療従事者向けサービスを利用している医療従事者	患者
調査回答者	調査対象と同一	調査対象と同一	調査対象と同一・異なる場合の両方	調査対象と同一	調査対象と同一	調査対象と異なる
備考			kencom登録者に対して、任意で回答する被保険者の世帯に対する設問があり、同一世帯の家族に関して調査対象者が回答する場合もある			医師および医療事務作業補助者
主たる調査項目	医師属性：診療科、施設形態・病床規模、専門医資格等 診療状況：約1000疾患別の診療有無、推計患者数 アンメットニーズ：新薬を望む疾患とその理由 プロモーション実態：製薬企業のMR訪問やオンライン面談、ネット情報提供の有無、情報源の信頼度や重視度等	165以上の疾患・症状に関する有病・診断・治療率、その疾患患のQOL ・WPAI、重症度や併発症、使用薬剤、および、医療に対してのお考えや行動(アドヒアランスを含む)などの特徴	アンケート項目：ヘルスリテラシー尺度（CCHL） ・QOL（EQ5D5L） ・仕事の生産性及び活動障害（WPAI） ・睡眠習慣（PSQI） ・経済毒性（COST） ・オーラルフレイル（OF-5） ・介護負担（Zarit） ・疾患影響度（QDIS-7） ライフログ：歩数・体重（任意） ・血圧（任意） ・血糖値（任意）	アンケート調査	・サービスユーザー向けのアンケート（内容は原則自由に設定） ・ユーザー自身にて入力した、以下項目。 生理開始日、生理終了日、基礎体温、体重、体調（頭痛、腹痛、生理痛、排卵痛等）、低用量ピルの服薬記録、不妊治療に関する記録、出産日等	国内で実施された手術・治療・病理剖検情報を収集。国内で発生している疾患の発生数、患者数、術後経過などの医療情報を登録している。

	PatientsMap	NHWS	DeSC	JMDC	ルナルナ	NCD
提供可能な医療関連データ		患者背景・バイタル	薬剤, 傷病名, 処置, 検査, 入院, 患者背景・バイタル	薬剤, 傷病名, 処置, 検査, 入院, 患者背景・バイタル		
連結可能なその他のデータ	一部ICD10コードに対応		保険者レセプト（医科・DPC・調剤・歯科）、 健診、保険加入者台帳	レセプト・健康診断結果 ・ウェアラブルデバイス データと紐づけ可能		DPC
フォローアップデータの収集	Yes	No	Yes	Yes		Yes
フォローアップのタイミング	・ 日本データ：1年毎 ・ 他国データ：不定期		当該保険に加入している 期間中のkencomの利用 登録者に対して、半年に 1回の頻度でアンケート 調査を実施。			疾患、手術に応じて退院 時、30日、1～15年予後 の登録を実施している
データ期間						
開始年	2011年	2000年以前	2019年			2011年
最新年	2026年	2025年	2025年		2026年	2025年
備考		1998年（日本データは2008年）開始。2026年版は2027年1月頃リリース予定。	最長6年、最小1年		データ抽出時点までのデータであれば抽出可能	

	PatientsMap	NHWS	DeSC	JMDC	ルナルナ	NCD
対象者数，観察期間						
総登録者数〔約，単位：万人〕	2	200	28	202	2300	3230
総登録者数：備考	日本データ：20,000人 米国データ：6,000人 中国データ：10,000人		四捨五入した数字を記載。 。	2025年1月～2025年12月 にアンケート送付可能な登録者数	2026年4月時点の累計アプリダウンロード数となります。	
年間登録者数（最新年） 〔約，単位：万人〕	2	3		202		200
年間登録者数（最新年） ：該当する年	2026年	2025年		2025年		2025年
年間登録者数（最新年） ：備考	日本データの数値です。	日本データ:3万人(国勢調査内容に沿って拡大係数処理を行い全国的なデータにしている。)		2025年1月～2025年12月	非公開とさせていただいております。またデータ項目によって数が大きく異なるため、必要に応じて、都度データ数を確認させていただいております。	
全体数に対するカバー割合（分母を明記）	6%（日本の医療従事者）	日本データ:3万人(国勢調査内容に沿って拡大係数処理を行い全国的なデータにしている。)			63.2%（20～39歳女性） 分子：年齢がアプリに登録されているアカウント数のうち、年齢が20～39歳のアカウント数 分母：総務省統計局人口推定（2022年10月1日現在）における、20～39歳女性の数	手術については全国の95%以上をカバー

	PatientsMap	NHWS	DeSC	JMDC	ルナルナ	NCD
年齢分布						
年齢分布	調査対象医師の年齢層は、若手から熟練医まで広範に分布しています。	18歳から64歳が約67%、65歳以上が33%	他年代に比べ40代、50代の登録率が高く、アンケート回答率も高い		月経管理を目的にアプリを利用する方が多いため、ユーザー層は10~49歳がほとんどを占めています。またユーザーの登録している居住地の都道府県分布と日本の都道府県分布を比較しても、非常に傾向が似ている結果となっております。	レジストリによって異なる
データアクセス・その他						
Web上でのデータへのアクセス	Yes	No	No	No	No	No
データ更新頻度	毎年	毎年		随時	随時	毎年
データ更新頻度：その他の詳細、備考	日本データの更新頻度です					
最新データ（〇月前）	日本データは毎年9月に更新	12か月前	8ヶ月前（2026年8月時点）	2ヶ月前		昨年12月までのデータ
公表						
調査結果の学会等での発表数	2	学会発表、雑誌への投稿合わせて1,600本以上	20報（2026年8月時点）	複数あり	複数あり	多数
査読のある雑誌への公表数	0	学会発表、雑誌への投稿合わせて1,600本以上	14報（2026年8月時点）	複数あり	複数あり	多数